

## 1学期始業式 講話

2022.4.6

おはようございます。

いよいよ、令和4年度の始まりです。まずは、元気な様子で登校してくれてありがとう。

昨年度の終業式でお願いしたことでしたね。

さて、春休みの18日間、皆さんは何をしましたか？世の中は、相も変わらず、新型コロナウイルス感染症対応に追われています。さらに、世界へ目を移すと、信じられない光景が目に飛び込んできます。このような現実を前に、皆さんは何を思っていますか？「え～、何も考えてな～い。」という声が聞こえてきそうですが……。でも、よく考えてみてください。新型コロナウイルス感染症対応で、私たちに日常は大きく変わりました。できないことや制限がつくことが増えました。ロシアのウクライナへの侵攻により、日用品の値上がりがありました。今、世界で起きていることは、確実に皆さんの生活に影響を与えています。何も考えず、何もせず、なすがままの生活を送るのですか。最初から、「できな～い」って諦めるのではなく、とにかく、「今、自分には何が必要か、何ができるのか」ということを真剣に考えること、これから皆さんが歩んで行く先には、確かな答えがない世界が広がっています。急に、「自分で考えて行動しなさい」と言われても、今まで、それをしていなかった人には難しいことだと思います。だから、令和4年度は、皆さんには、しっかりと、焦らず、慌てず、自分の頭で考える。そして考えたことを行動に移す。つまり、「挑戦する」年にしてもらいたい。視力、聴力、さらに言葉まで失っても、福祉の人として、人々の幸せのために尽くしたヘレン・ケラーは「人生はどちらかです。勇気をもって挑むか、棒にふるか。」という言葉を残しています。「何もしなければ、何も変わらない。得られるものは何もない。」是非、皆さん、勇気をもって「挑戦」する年にしましょう。

それと、もう一つだけ、お願いします。皆さん、あいさつをしようや！1日は「おはよう！」という挨拶から始まる。元気ある挨拶は周囲を明るくします。人間関係もそこから始まります。

令和4年度は「挑戦」と「あいさつ」

年度末には、「俺はこれだけはやった」「私はこれではできた」と皆さんが振り返ることができることを期待して、始業式の挨拶とします。

